

「性教育の手引」の改訂について

1 改訂の背景

- 情報化の進展など児童・生徒を取り巻く環境が変化
- 若年層の性感染症やインターネットを介した性被害の増加が課題
- 前回の改訂から10年以上が経過（学習指導要領改訂の機会）

2 改訂の方針

- 人間尊重の精神を基本とした人格の完成を目指して、児童・生徒の実態に応じた指導を展開できるよう、教員用の指導書として作成
- 性に関する正しい知識の習得 ○性に関する適切な意思決定や行動選択

3 経 過

- 平成7～9年 「性教育の手引」（小学校編、中学校編、高等学校編、盲・ろう・養護学校編）刊行
- 平成16・17年 「性教育の手引」（小学校編、中学校編、高等学校編、盲・ろう・養護学校編）改訂

4 内 容

〔 特 徴 〕

○基礎編〈小・中・高・特別支援学校共通〉

I 「性教育の手引」の改訂に当たって

II 学習指導要領における性教育の取扱い

III 学校における性教育の基本的な考え方

IV 学校における性教育の進め方

V 性教育（中学校）の実施状況調査結果

VI 産婦人科医等（外部講師）による授業の実施

VII 参考資料

○実践編〈小・中・高・特別支援学校の指導事例〉

指導の系統性・関連性を重視

- ・基礎編と小・中・高・特別支援学校の実践編を一冊に製本

性をめぐる現代的課題に対応

- ・性情報の氾濫や性感染症への対応、性同一性障害等に関する正しい理解

性教育の配慮事項を明確化

- ・発達段階を踏まえる ・学校全体で共通理解 ・保護者の理解を得る

カリキュラム・マネジメントの視点に立った指導計画を作成

- ・学校における推進体制や指導上の留意点等

性教育の現状を理解

- ・中学校における性教育の実施状況調査結果

保護者の理解・理解を得る方法等を具体的に提示

- ・学習指導要領に示されていない内容を含む授業の実施例

各校種の指導事例を体系化

- ・生物的側面、心理的側面、社会的側面に加え生命尊重の4つの側面で分類

全公立学校に、改訂の趣旨・活用方法や、手引を活用した指導事例・実践事例を周知し、人間尊重の精神に基づく性教育を支援